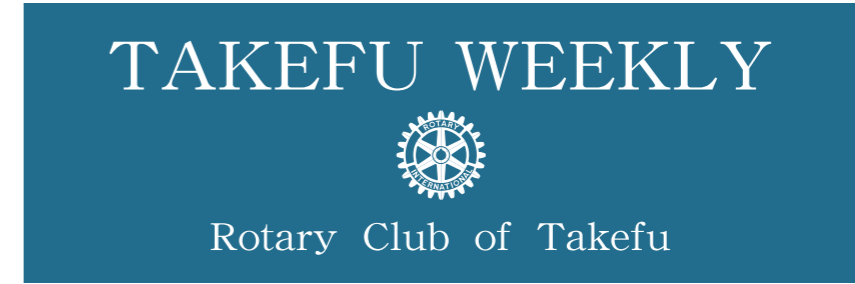


2014-2015 RI テーマ
ロータリーに輝きを



2014-2015 第2650地区テーマ
ロータリーは心くぼり

創 立/1954年(昭和29年)6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
会 長/米岡房直 幹 事/井上常宏 会報委員長/三田村士郎

プログラム

「私たちが考え目指す未来」

田辺嘉一郎氏

私は高校卒業後、神戸の飲食店に就職し、20歳の時、武生に戻り市内の飲食店勤務を経て、23歳の時、市内に店を開店致しました。



現在は仕事の傍ら有志と共に「あそぼっさ越前市ハッピープロジェクトチーム」という団体を立ち上げ、「そうだ村国山に行こう」を行っています。今年も9月28日に4回目のイベントを開催しました。1,800人の参加者があり、遠くは愛知県や滋賀県からも参加がありました。なぜこのようなイベントを始めたかと言うと子供たちに、田舎の良さを認識して、自然の中で遊ばせたい。子供たちの記憶の中に田舎の自然を残してやりたいと…。

北陸新幹線も着ますしこの活動が街の活性化につながったり、街がもっと元気になったら嬉しく思います。

報告事項

幹事報告 井上常宏幹事

- ・ガバナー事務所よりロータリー希望の風奨学金の寄付に対してお礼状がきております。
- ・地区ポリオプラス委員長より寄付金に対してお礼状がきております。
- ・10月例会より上着、ネクタイ着用になります。
- ・第27回源氏物語アカデミーが、10月24日～26日開催されます。

会員記事

三田村久治会員旭日双光章叙勲記念祝賀会

9月28日に三田村久治会員の旭日双光章叙勲記念祝賀会が武生パレスホテルで開催されました。



本日(10月7日)の例会
第一例会行事
ロータリー情報

10月14日
職場訪問例会
中西木材(株)

TRTC報告 奥村 忠会員

9月14日TRTC 8名で石川県白山市白峰にある砂御前山(1,326m)に登ってきました。鳴谷山に行く登山道から分かれ頂上までの行程は大変な道でしたが、ようやく頂上に立てました。頂上は木に覆われ展望は無し。途中で見られる白山も雲の中でした。



TRグリーン会報告 宮前貴史会員

9月23日越前武生カントリークラブにて開催され、玉村一男会員が優勝されました

玉村会員談

久しぶりに優勝できました。何故か?ドライバーが真っすぐ飛びました。次回も優勝を狙います。



ニコニコ箱 …… 20,000円 累計 495,000円

・田辺様本日の卓話よろしくお祈りします。

【米岡房直】

・厚き友情に感謝し、広い世間の御恩を感じ、先祖に誇りと敬意を捧げます 【三田村久治】

・今年も源氏物語アカデミーが10月24日より始まります。よろしくお祈りいたします。 【鎌谷忠雄】

・田辺さんご苦労さまです。 【田中大成】

・田辺さん、先週の「そうだ村国山に行こう!」お疲れ様でした。また本日は卓話をお引き受けいただきありがとうございます。どうかよろしくお祈り致します。 【矢尾主成】

・先日、第2班炉辺会合お疲れ様でした。【加藤 渉】

・75番目の百名山奥兄見日平ヶ岳2,141mに登ってきました。残り25、ガンバリます。 【西藤浩一】

例会変更情報/福井県内ビジター受付(10月8日~10月22日)

10月 8日 丸岡RC
12:00~12:30 JA花咲ふくい丸岡支店1階ロビー

10月 9日 福井RC
12:00~12:30 ユアーズホテルフクイ1階フロント

10月22日 丸岡RC
12:00~12:30 JA花咲ふくい丸岡支店1階ロビー

*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーのホームページ等にてご確認ください。

10月21日
炉辺会合報告
第1~5班

10月28日
米山月間に因んで
米山奨学生

第2929回 例会記録 平成26年9月30日(火)

本日出席会員36名

メイクアップ(前々回) 7名

出席率(前々回補正) 71.43%

ロータリーソング「四つのテストの歌」

ゲスト 田辺嘉一郎氏



会長挨拶 第61代会長 米岡房直



今日で9月も終わり明日から10月が始まります。秋本番になりますが、野菜の方は依然全般的に高値が続いています。特にトマト、白菜、キャベツが高いです。しかし玉葱、馬鈴薯を含む芋類は比較的安いのでたくさん食べてください。また、秋の果物類は豊作傾向なので比較的例年よりは安めです。又、先日御嶽山さんが噴火して多数の死傷者が出て非常に残念です。私も御嶽山に登山したことがあります。

MADE IN JAPANと聞いて思い浮かべるのは、高品質や安全面といった部分だと思います。ところが、逆にガラパゴス化しているという意見があるのも実際のところ。特に国内家電メーカーにおいては、付加価値の追求によって競合他社との差別化を図ってきたため、海外ではあまり評価されない付加価値が多すぎるのです。そこで、注目を集めているのがジェネリック家電です。

一般的にジェネリックと聞けば、特許切れの薬品(ジェネリック薬品)を思い浮かべますが、ここでのジェネリックは特許切れの製品ではなく、ブランドに拘わらないことを意味します。

つまり、ブランド力のある大手電機メーカーと同等の性能を備えていながら、低価格で手に入れられ

る商品を目指します。冒頭でも述べましたが、大手電機メーカー各社は、毎年のように新しい機能(付加価値)を備えたテレビ、冷蔵庫、エアコンなどを発売しています。

そこで開発された技術や部品は十分使えても、少し古くなると市場価値が下落します。そうした技術や部品の特許を侵害しない形で利用しているのが、主なジェネリック家電というわけです。

さて、ジェネリック家電の最も大きな特徴は低価格ですが、物によっては10分の1の価格を実現しているものもあるほどです。その低価格の理由は、大きく分けて3つあります。

1つ目が、開発に掛かるコストを大幅に削減できることです。これは大手のメーカーが、研究・開発をしてくれているため、それを真似ることができるためです。

2つ目が、実演販売やアンケートによつて、徹底的に顧客のニーズを調査し、機能を最小限にすることでコストを抑えられるためです。

最後にOEM供給によって、部品のコストを安く出来るためです。また、こうした「開発コストの削減」「機能の絞り込み」「OEM供給」という理由で低価格を実現しているため、品質について問題がないことは言うまでもありません。

このようにジェネリック家電は、求める機能が明確な人にとっては非常に魅力的です。しかしながら、付加価値の追求によって日本の家電メーカーの発想力と性能が磨かれてきたことも忘れてはいけません。それでも、今後ますます国内の市場規模が縮小していく中で、MADE IN JAPANを浸透させていくためには、このジェネリック家電という分野の成長も必要だと感じます。

海外では必要の無い機能を徹底的に削ぎ落とし、海外で喜ばれる機能(付加価値)を付けた製品の開発を行う。金融緩和、円安による輸出競争力が期待できる中で、MADE IN JAPANが次のステージに向かう準備は十分に整っているのかもしれない。